

# 延 岡 商 工 会 議 所

機関名	延岡商工会議所			
所在地	宮崎県延岡市中央通り3-5-1			
電話番号	0982-33-6666			
地域概要	(1)管内人口 12万7千人 (平成14年調べ、延岡市)	(2)管内商店街数	15商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数	2商店街	(2)会員数	115商店
	(3)空き店舗率	15.6%	(4)大型店空き店舗	3店
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街			

## 【事業名と実施年度】

平成12年度	商店街活性化対策事業	バーチャルモール
	総事業費	8,556千円
	空き店舗対策事業	チャレンジショップ、イベント
	総事業費	3,291千円

## 【事業実施内容】

### 1. 事業実施の背景

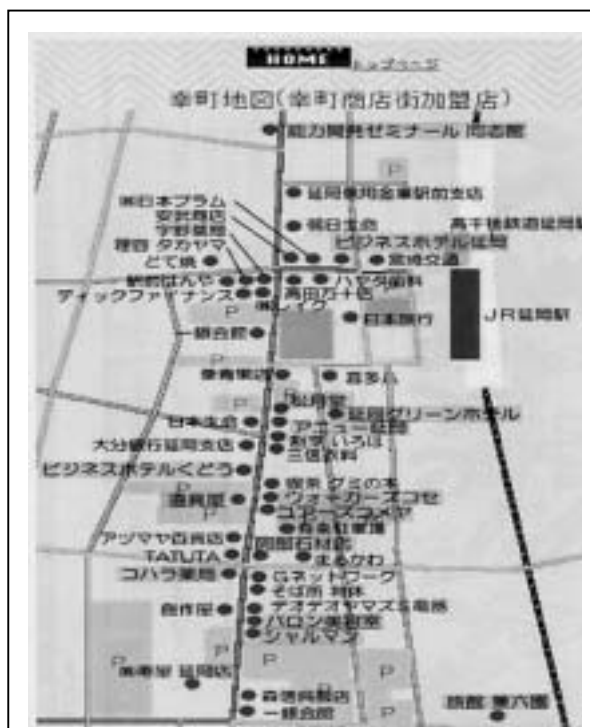
延岡市の商店街は、長引く不況と個人消費の低迷、更には近年相次いで出店した大型店やロードサイド店の影響と経営者の高齢化や後継者の不足による廃業や転業で年々空き店舗が増加傾向にある。特に中心商店街では空き店舗率が20%を超えてしまい、商店街の利便性・機能性を失いつつあり、町の景観・美観の点からも空洞化は深刻な問題。このような商店街の地盤沈下を打開し、賑わいと活性化を再創出させることは最大の課題となっている。

こうしたなかで、本市の中心商店街で商業集積のもっとも高い幸町商店街と街路の整備等ハード面での商業基盤整備が改善された延岡中央商店街において空き店舗を有効に活用して、急速に進展するインターネット等の情報社会に対応するとともに商業者の意識改革やソフト面の充実をはかりながら、

重要課題である空き店舗対策事業への取組みを緊急課題として行うものである。

### 2. 事業実施の内容

< 商店街活性化対策 >



ケーブルテレビTNNの情報チャンネルによるPRやバーチャルモールの構築を行い、実験的に商品の受注・発送・決済の研究をした。また商店街の集客を高めるために、空き店舗にインターネットの無料体験コーナーの設置を行った。



開設されたホームページ(右)と無料体験コーナーが置かれた「タウンステーションオアシス」(上)



### (1) 実施内容

#### 1) バーチャルモール(レインボウタウン in のべおか)

幸町商店街を中心にケーブルテレビTNNのインターネットに加入して19店舗によりインターネット販売を行った。1店舗あたり5ページのホームページを作成し、内容の更新を行いながら、商品の受注、決済等を研究した。

#### 2) TNNの広告

TNNの情報チャンネルを活用して個店のPRを行った。参加店のCMを連続で1日に10数回放映した(1店舗あたり30秒の間に3枚の静止画)。

#### 3) 無料体験コーナー

幸町の空き店舗を利用してTNNのインターネットを無料で体験できる施設と休憩所を併設した。設置したパソコンは3台。オープンした8ヶ月の間に利用者はのべ3,200人。

### < 空き店舗対策 >

空き店舗事業のキーワードはエコ(地域福祉・経済・環境)とし、高齢者や障害者・ボランティア・趣味の会や地域の特産品の生産者などが空き店舗を有効に活用し、商店街の活性化と賑わいの創出に寄与する事業とする。

事業の内容については九州保健福祉大学の参画をいただきながら事業の推進を図った。



オープニングセレモニー

### (1) 実施内容

#### 1) チャレンジショップ

出店意欲のある企業・団体や新たな起業をめざす人を募集し、商店街の不足業種を充足させた。

- ・ふくしショップ（市社会福祉協議会）
- ・地場さろん（のぼりざる倶楽部）

## 2) 展示・ギャラリー

高齢者や趣味の会などの製作した作品の展示販売を行った。

- ・シルバー人材センター 書道、ちぎり絵、木工品など
- ・ストリート似顔絵展 幼稚園児の作品展
- ・写真展および即売（写真家：本庄正和氏）

## 3) 関連イベント

当事業を側面から支援し、賑わいを高めるためのイベントを実施した。

- ・オープニングセレモニー
- ・エコ抽選会（来場者対象）
- ・ストリートクリスマス2000イベント など



餅つき大会、絵画会から書道展、売り出し抽選会まで、多種多様なイベントが開催され、年間1万人を超える来場者があった。

## 【 効 果 】

### < 商店街活性化対策 >

#### (1) 事業の認知度

オープニングセレモニーや新聞広告でPRに努めたが、当初は予想した程の伸びがなかった。しかし、徐々にではあるが口コミ等で確実に認知度は高まっていった。

#### (2) 事業の効果

##### 1) バーチャルモール構築

幸町商店街を中心に市内の19店舗が参加。平成12年8月にオープンした。平成13年3月の終了までの約8ヶ月間に約5500件のアクセスがあり、この間23件の注文を受け参加店の売上に結びつく効果があった。注文のほとんどは県外からであり、その中の半数はホテルの予約であった。

##### 2) TNNの情報チャンネルによる広告

延岡のケーブルテレビTNNを活用して、1店舗30秒の地域限定CM放映（1店舗

3枚の静止画像)を行った。

### 3) インターネットの無料体験コーナー

幸町商店街の空き店舗を活用し3台のパソコンを設置して、誰でも自由にTNNの高速インターネットが無料で体験できる施設を8月にオープンした。

期間中の利用者は8ヶ月間で、のべ3200人に達し集客力が低迷する商店街の活性化の一助となった。

#### < 空き店舗対策 >

##### (1) 事業の認知度

当初はPR不足のため認知度が低かったものの、新聞や広告、チラシなどによる出店内容の紹介や出店業者のDMなどにより認知度は高まった。

##### (2) 事業の効果

- 1) 8月のオープンから3月までに1万人を超える来場者があった。
- 2) 商店街関係者の間では、商店街活性化の手法についての意思統一が図れた。
- 3) 福祉関係者とのコミュニティが形成された。
- 4) 周辺住民への利便性にも寄与できた。

#### 【 課題 ・ 反省点 】

#### < 商店街活性化対策 >

##### (1) バーチャルモール構築

- ・各店舗のインターネットの普及とソフト・ハード両面の整備が急がれる。
- ・商品送料等の経費削減するために運送業者の選定の検討が必要である。
- ・参加店舗を増やすと同時にオリジナル商品の充実など他のモールとの差別化を図っていくことが求められる。
- ・アクセス数の増加を図るためにホームページのPRを積極的に行う工夫が大事である。
- ・商店街でバーチャルモールを行う上では定期的に画面の更新などを行う情報担当者が重要である。
- ・個店でホームページを作成・運用するにはハード・ソフトなどに初期投資からランニングコストの大きな経費負担が生じ、効率よく運用するには長期計画が必要となる。

##### (2) TNNの情報チャンネルによる広告

- ・今回は予算の関係で映像だけの(音声なし)CMであったが、今後は音声を利用するとより効果的である。
- ・期間限定の商品広告の作成などでCM効果も測定できるように新鮮な広告作成を行う
- ・今回の事業では映像作成が初めての経験で、最初に掲載して次ぎの変更までに非常に時間を費やした。今後はCMの年間計画を作成し季節感のある広告を行うことが重要である。

##### (3) インターネットの無料体験コーナー

- ・同じ利用者が頻繁に利用する傾向があり、無料体験コーナーでの継続は問題が多い。
- ・継続の場合には無料・有料を問わず採算性の問題があり、利用者に経費負担をお願いして行きたい。

・商店街の集客効果は認められるが、商店の直接的な売上効果に疑問があり、今後は売上金額に応じての有料(無料)利用券の発行など工夫が必要である。

< 空き店舗対策 >

- ( 1 ) 事業進行中に、将来に渡って店を続けて欲しい要望が多くの消費者からよせられたが、早期にしかも迅速にこのニーズに応えていくことが重要である。
- ( 2 ) 出店者については出店したい意向は評価しつつも、顧客ニーズや商品管理、ランニングコスト等の問題を解決していくことが重要である。
- ( 3 ) イベントの開催は、事業との関連性を充分持たせイベント当日の集客に終わらせないことが重要である。
- ( 4 ) 効果的に事業を推進していくためには、長期的で戦略的な展開が必要である。したがって、市民団体と行政、商店街がその関係を更に密にして事業に対応していくことが大切である。
- ( 5 ) 空き店舗を活用しての事業だけでなく、周辺商店街と連携して、点から線さらには面になる事業展開を行うことにより、相乗効果や街の回遊性を高めることが重要である。

- 総 括

中心商店街における空き店舗問題は、空き店舗を活用して何らかの事業を展開すれば解決できる問題ではなく、中心商店街や通り全体の魅力を創出させることによって初めて解決する問題である。

当市では、延岡市中心市街地活性化基本計画をもとに、TMO構想計画を作成する。この中で、ハード・ソフト両面に渡って中心市街地の活性化に取り組むことになるが、空き店舗を中心商店街に不足する業種、機能を充足させるテナントミックス等の絶好の空間であるととらえ、本事業で得たノウハウを活かしつつ、積極的に活用していくこととなる。

引き続き市民団体、行政、商店街が連携して空き店舗事業を展開するとともに、九州保健福祉大学の事業への参画をいただきながら新たな空き店舗解消の手法を探っていきたい。



広告は企画の性格にあわせて作成

【 教 訓 】

事業の継続性が必要であるため、長期的で計画的な取り組みが必要である。

【 関 連 U R L 】

延岡商工会議所

<http://www.miyazaki-cci.or.jp/nobeoka>

2000年

# タリデイリー



農産物の販売が始まった「eco」

## 延岡市中央通の「eco」に—— 福祉施設など合同出店

### 農産・加工品直販で人気上々

延岡市中央通四丁目「eco」(エコー)は、延岡市中央通、山本町四丁目、市内の福祉施設や福祉の木の森総合病院等に、作業所七団体が合同で出店している。この「eco」は、農産物や加工品の直販が中心で、日用品や雑貨も取り扱っている。

販売が始まった。十月十一日、延岡市中央通、山本町四丁目、市内の福祉施設や福祉の木の森総合病院等に、作業所七団体が合同で出店している。この「eco」は、農産物や加工品の直販が中心で、日用品や雑貨も取り扱っている。

延岡市中央通四丁目「eco」は、延岡市中央通、山本町四丁目、市内の福祉施設や福祉の木の森総合病院等に、作業所七団体が合同で出店している。この「eco」は、農産物や加工品の直販が中心で、日用品や雑貨も取り扱っている。

### フリーマーケットにぎわう

#### 延岡市ボランテニア協会 夕涼み、買い物を満喫

延岡市ボランテニア協会(中村会長)は、四日、延岡市中央通交差点(ロータリー)の裏側で、フリーマーケットを開いた。暑さを避けての夕涼みとあって、夕涼みがてらの家庭連れや、仕事帰りの市民でにぎわった。

同協会の加盟団体や個人など約十店が、家庭で不用になった衣料品や日用品などが所狭しと並べられ、助けた人たちは思い思いに品定めしては買い求めていた。

同協会は、延岡商工会議所などが延岡中央商店街(山本町四丁目)で取り組む空き店舗対策事業(山口県子事業局長)と、四日間の活動の締めくくりにあつた。

ア協会(中村会長)が、同協会や加盟団体を招き、フリーマーケットを開催した。



にぎわった延岡市ボランテニア協会のフリーマーケット

空き店舗を利用したイベントや企画は、新聞報道などで話題を呼んだ